

学校経営目標：夢と希望をはぐくむ学校

教育目標：考える子 思いやりのある子 やりぬく子

本宮市立本宮小学校

学校だより第27号

令和4年3月22日

校長 穂山俊之



# 本小だより

## すべては子どもたちの笑顔のために

本年度の様々な教育活動が、まもなく終わりを迎えようとしています。

「コロナ渦」といわれるようになってから、丸3年が経過しました。ここに来て、まだまだ油断はできないものの、ようやく出口が見えてきたように思えます。

手探りの中で、できることと・できないことを判断しながら、教育活動を進めてきた3年間。その経験値を生かして、昨年度の「教育活動を止めない」という方針から、今年度は、感染症対策を継続しながら、少しでも元の教育活動に戻していくことを心がけてまいりました。

おかげさまで、保護者、地域の皆様にも、直接、子どもたちの活動を

ご覧いただける機会が、以前よりは増やすことができたのではないかと考えております。

また、規模や方法こそ変わったものの、昨年よりも多くの活動を行うことができたかいてもあって、子どもたちの「よさ」に数多く出会うこともできました。

日々の学校生活の中で見つけた子どもたちの「よさ」をできるだけたくさん、保護者の皆さまにもお伝えしたいという一心で、号を重ねてきたこの「本小だより」は、第27号をもって、今年度の最終号となります。

きっと、私が直接目にすることができなかった子どもたちの「よさ」が、この1年間、数多くあったことと思います。また、「よさ」があったにもかかわらず、私がそれを感じ取れなかったり、言葉に表す力がなかったりしたこともあったことでしょう。

お伝えしきれなかった部分については、どうかご容赦ください。

ただ、学校評価で、「学校だよりの発行」や「ホームページの更新」など、「開かれた学校づくり」の部分において、高い評価をいただいたことは、

「毎日、毎回の小さな積みかさねを続けて努力することは、必ず成果として現れるのだ。」ということ、あらためて認識できた機会となり、自信に繋げることができました。感謝申し上げます。



裏面に続きます。

いつもいつも細かい字で、お詫びせねばなりません、またお時間があるときにでも、読み返していただけたなら幸いです。（バックナンバーは、本校HP にUP中です。）

いよいよ明日は、本年度の締めくくりとなる卒業式です。コロナ禍にあって、「今できること」に心を込めて、学校経営目標である「夢と希望をはぐくむ学校」を目指してまいりました。その推進力となったのは、子ども達や職員のがんばりと笑顔の力であり、保護者・地域の皆様のご支援の力です。本当に、「感動・感激・感謝」の三感の思いでいっぱいです。ありがとうございました。来年度も、引き続き、本校教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

すべては子どもたちの笑顔のために……。



本番さながら 立派な参加態度

## 卒業式練習

3月14日（火）、16日（木）、20日（月）の3日間にそれぞれ1時間ずつ、6年生と先生方が体育館に集まり、卒業式の練習を行いました。

さすがは、本宮小の自慢の6年生です！

集中して話を聞き、思いを込めて、真剣に練習に臨む姿には感心させられました。コロナ禍で制限が多かったこの3年間でしたが、そんな状況だからこそ、育まれる心や力があるんだなあと、あらためて、子どもたちのたくましさ、力強さを感じました。

明日は、いよいよ卒業式当日。

制限がある中ででの式とはなりますが、マスクなしで、友だちや先生方と笑顔を見せ合える場面が、昨年度より、数多く作れるのではないかと考えています。

素晴らしい卒業式となりますように……。

## 令和4年度修了式

1年間の締めくくりがしっかりとできました！

3月22日（水）の2校時に、令和4年度の修了式を校内テレビ放送で実施しました。

6年生を除いた1年生から5年生までが、各教室で修了式に臨み、全校生を代表して5学年の代表児童が、修了証書を受け取りました。

1年間の締めくくりがしっかりとできました。



### 寄贈 ポータブルスピーカー

3月14日（火）、本宮小学校の前にある電気店「本芝」様より、Bluetooth 対応ポータブルスピーカーを寄付していただきました。



本芝様、ありがとうございました。大切にさせていただきます。